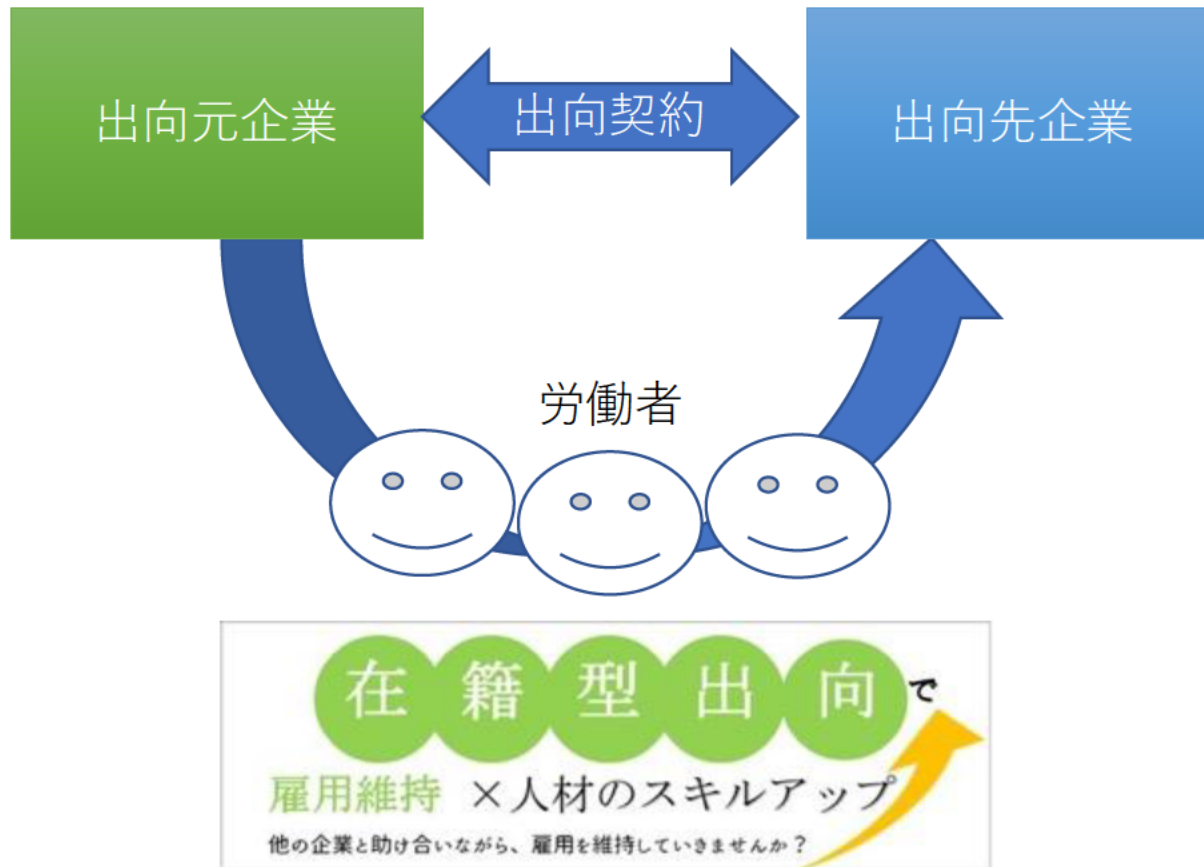


# コロナウイルス感染症による環境変化と 在籍出向制度の導入概要



コロナウイルス感染症の拡大に伴い、  
国際線の運行数が減少/停止した。

雇用維持と人材のスキルアップのため、  
業種が異なる出向先企業での就業を開始した。

職務環境の変化、在籍出向の立場の労働者にも  
安全衛生管理を適切に行っていく必要がある。

業種・職務が異なり、もともとの関係性がなく、  
両社の安全衛生管理方法は異なっている。

→出向先の安全衛生管理に適応するため、  
両社の安全衛生委員会を「見える化」した。

# 在籍出向労働者に配慮した出向者教育！

- 出向元と出向先のルールの違いにも柔軟に適応できるように、出向元との違いを含め、出向者に現地で安全衛生教育を行った。



# 出向先の安全衛生委員会を「見える化」！



委員会の投影、遠隔参加



審議・周知

出向先の  
安全衛生委員

出向元の  
衛生管理者

産業医

安全衛生の  
意見反映

- 出向元衛生管理者が毎月出向先の安全衛生委員会に参加した。
- リスクアセスメント、熱中症対策、感染症対策、健康診断等のテーマについて、相互の意見、ノウハウを持ち寄り、活発に審議していった。

出向元の安全衛生委員会へ  
共有事項を持ち帰り、意見聴取。  
相互の安全衛生文化の理解が進み、  
感染症対策や労働衛生教育に繋がった。